

みんなの心に灯りを点そう^{とも}

市誕生記念イベント「フレ・クリスマス」

合併を機に「この地に暮らす住民が一つになつて何かできないか：何かやろうじゃないか」との思いから「皆の心に灯りを点そう実行委員会（池田文明会長）」主催により『フレXmas in 北秋田』が12月4日、米内沢スキー場を主会場に開催されました。

このイベントは、有志が県の「地域のきらめき発掘事業」に応募し、採用されたことから、助成を活用して実施されたものです。

参加者は、クリスマスにちなんだ多彩な催しを満喫。最後は、周囲を飾る光の中、大型ツリーに灯りがともると、冬空に大輪の花火が打ち上げられ、寒さを越えて、みんなの心に灯りがともされたようでした。



クリスマスグッズの制作やコンサート、フリーマーケットなど多彩な催しでにぎわった手作りイベント

甘く、美しい旋律で聴衆を魅了

倉本裕基ピアノコンサート

韓国ドラマ「冬のソナタ」などでもオリジナル曲が使われているピアニスト倉本裕基さんのコンサートが11月20日、文化会館で開かれ、甘く、美しいピアノの旋律が満場の観衆を魅了しました。

倉本さんは日韓両国の文化交流に大きな貢献を果たしたことが評価され、昨年の日本レコード大賞では特別賞を受賞されています。

夫人の美穂子さんは鷹巣地区出身で、以前から鷹巣公演を期待する声があったことや、文化会館の自主事業として市ゆかりの音楽家の公演を検討していたことなどから、打診したところ、快諾を得て実現したものです。飾らず自然体で音楽活動続ける倉本さんの人気は北秋田市でも一段と高まりそうです。



「霧のレイクルイーズ」など21曲を弾き終え、アンコールは「浜辺の歌」で締めくくったコンサート



本を読むこと、読んであげることが大事と助言する長谷川恵光さん

子育ては親がしっかり、そして楽しんで

合川西小学校「読み聞かせ会・子育て講演会」

合川西小学校（加賀史子校長）で学校開放「みんなの登校日」期間の11月10日、男鹿市の僧侶・長谷川恵光（えこう）さんによる「読み聞かせ会・子育て講演会」が開かれました。はじめに戦争やいじめについての本を児童に読み聞かせ「本はいろんな事を教えてくれます。たくさん読みましょう」とアドバイス。続いて父母らを対象にした講演会では、男鹿の宗泉寺に嫁ぎ、3年で夫の任職が急逝、後を継ぐため、子ども2人を檀家のおばあちゃんたちに預け、修行し、戻ってきたという経歴から「親がしっかり生きていけると、子どもはいつか認めてくれる。子育てを楽しんで」と助言。父母らは熱心に聞き入っていました。



「健康増進に役立ててください」と阿仁支所長に寄付を手渡す湊キヌさん

亡き夫のお礼にと寄付

湊キヌさんより善意が寄せられました

阿仁銀山の湊キヌさんが11月25日、阿仁支所を訪れ、亡き夫・直治さんがお世話になつたお礼にと50万円を寄付されました。直治さんは生前老人クラブやゲートボール、保健センターの保健事業など積極的に参加され元気に過ごしていましたが、今年になって体調を崩され、9月22日に81歳で他界されました。

ご夫妻は、昭和57年に直治さんが長年勤めていた職場を退職されると同時に、神奈川県鎌倉市から転入されて以来ふるさと阿仁でお過ごしでした。夫の意志を継ぎ「お世話になった阿仁の健康増進のために役立てていただきたい」とのことで、善意を有り難くお受けしました。

太鼓の醍醐味を満喫

鷹巣ばやし普及会定期演奏会「ザ・太鼓」

「鷹巣ばやし普及会（野呂俊二代表）」の定期演奏会『ザ・太鼓』が12月4日、文化会館で開催され、迫力ある演奏に、大入りの観衆が太鼓の醍醐味を満喫しました。

同グループは、鷹巣神社の祭典を盛り上げようと昭和58年に発足、その後、作曲の演奏を中心に県内外のイベントなどで、22年にわたって精力的に活動を継続しています。

演奏会は、1年間の活動の締めくくりとして毎年行われているもので、今年で8回目の開催。会員の中から、ジュニアも含め30人が出演、また、大館市や秋田市などから4団体が応援に駆けつけ、来場者とともに太鼓の楽しさを共有したステージとなりました。



オリジナル曲を披露し、迫力とリズム感あふれる演奏で聴衆を魅了した演奏会

練習の成果をバチに託す

第15回鷹巣祇園太鼓審査会

結成20年目の節目を迎えた「鷹巣祇園太鼓振興会（今立明会長）」による「第15回鷹巣祇園太鼓審査会」が11月23日、文化会館で開催され、会員らが腕前を競い合いました。

同振興会は昭和60年「太鼓の里づくり構想」に合わせ、鷹巣銀座通り商店会の青年部が九州・小倉に伝わる「祇園太鼓」に取り組んだのが始まり。その後、会の活動目標に青少年の健全育成、生涯教育の奨励などを掲げ、小学校などで太鼓の指導も続けています。

この日も小学生を中心に150人以上が審査会に臨み、ジャンガラと呼ばれるリズム楽器の音に調子を合わせ、軽快なリズムで力強いバチさばきを披露しました。



祇園太鼓は左手を逆手に使うことなどから難しい演奏法といわれています。